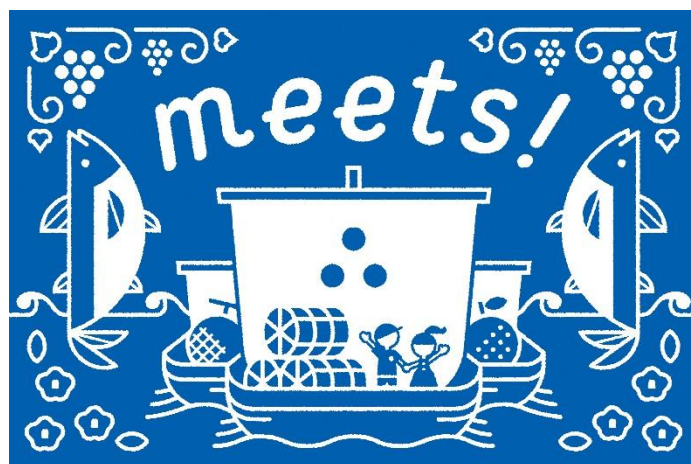


デジタル田園都市国家構想の実現に向けた
第3期松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略

「住みたい・住み続けたいまち 松浦」
を目指して



令和7年3月

目 次

I. 基本的な事項	1
1. 策定における基本姿勢	1
2. 計画期間	1
II. 推進及び評価体制	1
III. 基本目標と方向性	2
1. 基本目標の設定	2
2. 目標達成に向けた方向性と重要業績評価指標	3
【基本目標1】しごとの創生	3
(1) 就業の機会を創出します。	3
(2) 新たな雇用の場を創出します。	4
(3) 交流人口を拡大します。	5
【基本目標2】ひとの創生	7
(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての包括的な支援を行います。	7
(2) 学びの場を充実させます。	8
(3) 若者の域外流出に歯止めをかけ、本市への還流を推進します。	9
(4) 移住定住、関係人口創出・拡大のための取組を推進します。	10
【基本目標3】まちの創生	12
(1) 誰もが安心して生活できる地域をつくります。	12
(2) 住みやすい環境の整備を行います。	13
(3) 対話と協働によるまちづくりを推進します。	14

I. 基本的な事項

1. 策定における基本姿勢

人口ビジョン及び総合戦略の策定にあたっては、産学民官連携組織である松浦市まち・ひと・しごと創生協議会（以下、「創生協議会」という。）（※1）をはじめ、市議会やパブリックコメントなど幅広く意見を聞きながら、長崎県のまち・ひと・しごと創生総合戦略も勘案の上、策定します。

また、総合戦略には計画期間内に実施する施策の方向性を盛り込むことによって、「住みたい・住み続けたいまち 松浦」の実現に向けた先導的役割を担う計画とします。

2. 計画期間

第3期総合戦略の計画期間は、2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）までの5か年とします。なお、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた、デジタル技術の活用によって本市の課題解決や魅力向上を図る施策については、国の総合戦略の計画期間を勘案して、2027年度（令和9年度）までの間において集中的に取り組んでいくこととします。

II. 推進及び評価体制

計画の推進については、「松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議」（※2）を中心に、必要に応じて住民をはじめ、産業界、教育機関、金融機関、労働団体、メディア、福祉関係団体、デジタル分野の有識者等と連携することによって、施策の実効性の向上を図ります。

また、評価については、創生協議会が検証機関として、総合戦略において定めた施策の重要業績評価指標に基づき、その成果・効果を客観的に検証し、必要に応じて改善を行う仕組み（PDCAサイクル（※3））を構築します。

※1 松浦市まち・ひと・しごと創生協議会

総合戦略の策定及び評価にあたり、産業界、教育機関、行政、金融機関、労働団体、メディア、福祉関係団体等の関係者の意見を反映するため設置した官民連携組織

※2 松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議

総合戦略の策定及び推進にあたり、全庁横断的に取り組むたの庁内の組織

※3 PDCAサイクル

Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Act（改善）の4つの段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善するサイクル

Ⅲ. 基本目標と方向性

1. 基本目標の設定

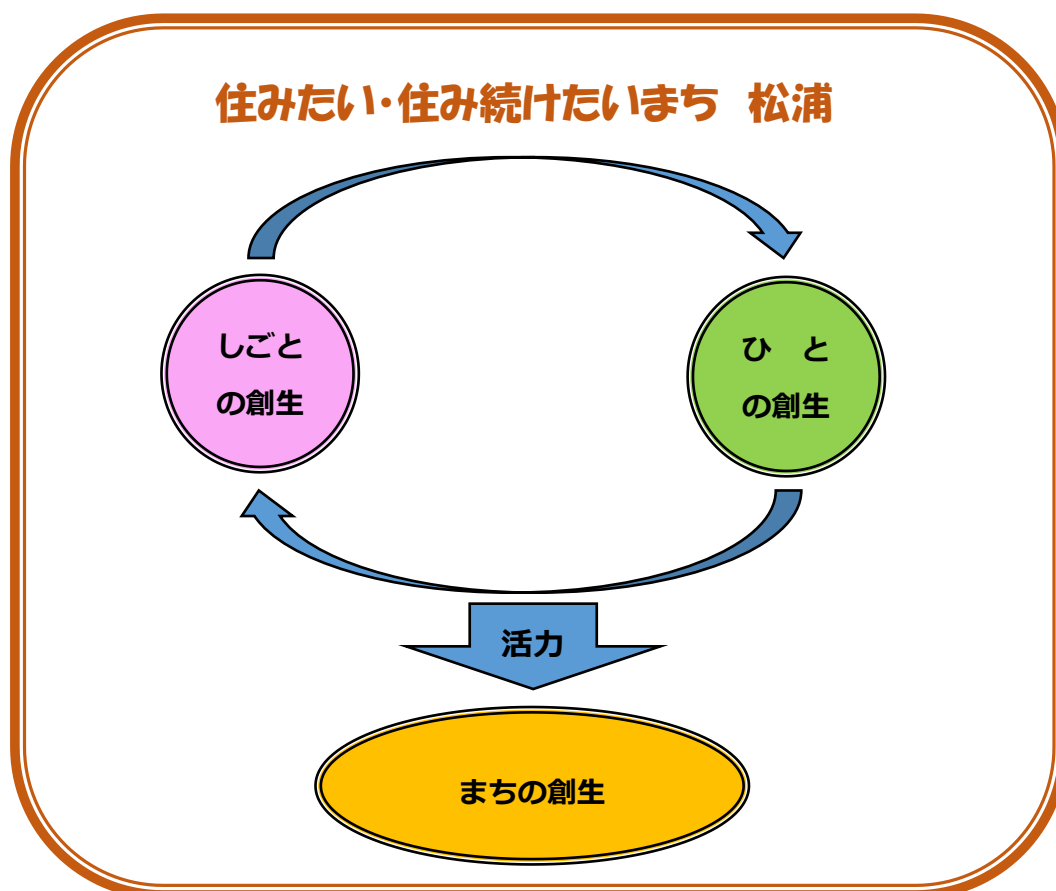
国の総合戦略においては、デジタル田園都市国家構想の実現のため、デジタルの力を活用し、社会課題解決や魅力向上を図るため、これらを実現する上での重要な要素として、「地方に仕事をつくる」、「人の流れを作る」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「魅力的な地域をつくる」という4つの類型に分類してそれぞれの取組を推進することとされています。

本市においては、これまで「しごとの創生」「まちの創生」「ひとの創生」という3つの基本目標を掲げ取り組んできたところですが、国の総合戦略において4つの類型に分類する要素のいずれも包含したものであることから、人口ビジョンで示した将来像を踏まえ、引き続きこれまでと同じ3つの基本目標を設定し、取り組みを推進します。

【基本目標1】しごとの創生

【基本目標2】ひとの創生

【基本目標3】まちの創生



2. 目標達成に向けた方向性と重要業績評価指標

【基本目標 1】しごとの創生

数値目標 雇用創出数：200人増／5年
(既存市内事業者の新規雇用者増加数＋企業誘致による雇用者増加数)

(1) 就業の機会を創出します。

〔関連するSDGs〕



1) 設備投資や販路拡大、新規事業の展開などについて積極的に支援を行うことで、地場産業の育成を図ります。また、IoT技術の導入促進により、省力化や生産性の向上に繋げ、所得の向上を図ります。

このことにより、新たな就業の機会を創出し、若者にとって魅力のあるしごとを創ります。

① 施策の方向性

- ア 地場産業や企業の魅力について地域内・外への情報発信
- イ 地元企業の人材確保への支援
- ウ 地元企業の設備投資への支援
- エ 従事者の負担軽減や生産効率の向上を図る先進的技術の活用推進
- オ 創業に対する支援

② 重要業績評価指標（KPI）

- 既存市内事業者の新規雇用者増加数
＜KPI＞50人／5年（令和5年度：10人）
- スマート農林業普及推進事業採択件数
＜KPI＞20戸／5年（令和元～5年度：18戸）
- スマート水産業普及推進事業採択件数
＜KPI＞5件／5年（令和6年度当初時点：1件）
- 納税義務者一人当たりの総所得
＜KPI＞令和11年：3,100千円（令和6年：2,752千円）

2) 地域資源を活かした魅力ある農水産品、製品等づくりを行うとともに、地域の特色や生産者の思いなどをストーリーとして付加し、地域ブランド化を図り、所得の向上に繋がります。

① 施策の方向性

- ア 地域資源を活用した商品開発及びブランド化などによる販売促進
- イ 農水産業の生産性向上や営業力強化等による販路開拓
- ウ 産品や製品、技術力などの魅力を発信するツールの作成
- エ 6次産業化（※4）への支援
- オ ふるさとづくり寄附金事業の推進

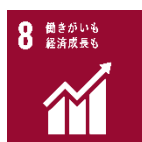
※4 6次産業化：農林漁業生産と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業を促進すること

② 重要業績評価指標（KPI）

- 新たな商品開発品目数
＜KPI＞37品目／5年（令和2～5年度：52品目）
- 新たな販路開拓数
＜KPI＞50件／5年（令和2～5年度：79件）
- ふるさと納税新規返礼品数
＜KPI＞100件／5年（令和5年度末時点返礼品数：約500件）

（2）新たな雇用の場を創出します。

〔関連するSDGs〕



1) 企業立地に対する様々な支援制度を整備するとともに、企業誘致による新たな産業の創出を目指します。

① 施策の方向性

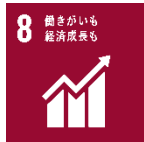
- ア 工業団地の整備推進
- イ 企業誘致活動
- ウ 人材確保への支援
- エ 事業用地取得に対する支援

② 重要業績評価指標（KPI）

- 企業誘致数
＜KPI＞ 3社／5年（企業立地推進工業団地数：3か所（整備中含む））
- 企業誘致による雇用者増加数
＜KPI＞ 150人／5年（上記工業団地1か所当たり目標数：50人）

（3）交流人口を拡大します。

〔関連するSDGs〕



1) 集客力の高い既存の観光資源を活用するとともに、産業の振興、生産性の向上による地域活性化を推進し、インバウンドを含めた交流人口の拡大を図ります。

① 施策の方向性

- ア 体験型旅行の受入体制の維持
- イ 既存の地域資源の活用及び環境整備
- ウ 道の駅及びその周辺を核とした更なる交流人口拡大に向けた拠点整備
- エ 食を中心とした魅力発信
- オ 水中考古学研究の促進及び研究成果を活かした交流拡大

② 重要業績評価指標（KPI）

- 一人当たり観光消費額（日帰り）
＜KPI＞ 11,000円／年（令和5年度：10,070円）
- 一人当たり観光消費額（宿泊）
＜KPI＞ 55,000円／年（令和5年度：52,991円）
- 観光客延べ数（日帰り）
＜KPI＞ 令和11年度：124万人（令和5年度：1,115,779人）
- 観光客延べ数（宿泊）
＜KPI＞ 令和11年度：13万人（令和5年度：130,362人）

2) 西九州自動車道の整備状況を踏まえ、福岡都市圏を中心とした情報発信の強化及び地域資源の更なるブラッシュアップにより、多くの人々が「松浦」を訪れるような取り組みを進め、交流人口の拡大を図ります。

① 施策の方向性

- ア 福岡シティプロモーションの推進
- イ 西九州自動車道の整備促進
- ウ 商業・観光施設等の整備促進及び活用

② 重要業績評価指標（K P I）

- 福岡都市圏におけるインターネット調査による松浦市の認知度
＜K P I＞令和10年：85%（令和4年：82.5%）

【基本目標2】ひとの創生

数値目標 令和11年度末時点 生産年齢人口8,400人
(令和5年度末時点:10,236人)

(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての包括的な支援を行います。

〔関連するSDGs〕



1) 結婚から妊娠、出産、子育てにおいて切れ目のない支援を行い、子どもを安心して産み育てることができるまちづくりを行います。

① 施策の方向性

- ア 出会いの機会の提供
- イ 妊娠・出産に対する支援
- ウ 子育てにかかる経済的負担の軽減
- エ 子育て相談・地域子育て支援拠点の充実
- オ 仕事と子育ての両立への支援

② 重要業績評価指標（KPI）

- 合計特殊出生率
＜KPI＞令和11年度：2.07（令和3年度：1.98）
- 婚姻率
＜KPI＞令和11年度：3.6%（令和5年度：2.0%）

2) 本市の「子どもを生み育てやすいまち」について、地域内外へ効果的にPRし、子育て世代をはじめ若者の域外流出抑制と域内への流入を図ります。

① 施策の方向性

- ア SNS等を活用した本市の総合的な子育て支援制度の周知

② 重要業績評価指標（KPI）

- 15歳から44歳までの社会増減数
＜KPI＞令和11年度：△54人（令和5年度：△73人）

(2) 学びの場を充実させます。

〔関連するSDGs〕



1) 小・中学校の教育環境の充実を図ります。

① 施策の方向性

- ア 学力向上に繋がる取組の推進
- イ ICT環境の整備や学校図書の充実化の推進
- ウ 子供の豊かな体験活動の推進
- エ 英語教育環境の整備

② 重要業績評価指標（KPI）

- 国語・算数（数学）の授業が分かったと回答する児童生徒の割合（小・中平均）
＜KPI＞令和11年度：85%（令和5年度：80%）
- CEFR A1レベル（英検3級程度）の英語力を持つ中学3年生の割合
＜KPI＞令和11年度：60%（令和5年度：29%）

2) 生涯学習や文化・スポーツ活動を充実させ、郷土愛の醸成に努めます。

① 施策の方向性

- ア 自ら求め、学び合う心を培う生涯学習の推進
- イ 明るい社会づくりをめざす人権・同和教育の推進
- ウ たくましさ・やさしさをもつ青少年の育成
- エ 健康で活力のある市民を育てるスポーツの推進
- オ 文化芸術活動の推進

② 重要業績評価指標（K P I）

- 出前講座実施回数
＜K P I＞ 150回／年（令和5年度：157回）
- 図書館来館者数
＜K P I＞ 32,300人／年（令和5年度：29,071人）
- スポーツ大会参加者数
＜K P I＞ 市民体育大会 1,000人／年（令和5年度：1,045人）
市民駅伝大会 550人／年（令和5年度：520人）

3）海外姉妹都市との交流を深めることにより、グローバル人材の育成を推進します。

① 施策の方向性

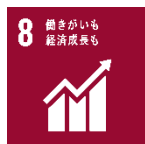
- ア 海外姉妹都市との交流推進
- イ 外部人材活用による交流促進

② 重要業績評価指標（K P I）

- 交流人口数（訪問団員としての訪問者数）
＜K P I＞ 120人／5年（令和5年度：21人）

（3）若者の域外流出に歯止めをかけ、本市への還流を推進します。

〔関連するSDGs〕



1) 地元に残って就職したい、住み続けたいと思う若者やUターン希望者の意向に沿った環境づくりに取り組みます。

① 施策の方向性

- ア 地元企業の就業の場としての魅力発見・魅力体験の機会の提供
- イ 産学官が連携した就職情報の共有
- ウ 1次産業の就業者支援施策の充実と新たな起業に対する支援
- エ 合同企業説明会の開催
- オ【再掲】地場産業や企業の魅力について地域内・外への情報発信

② 重要業績評価指標（K P I）

- 支援策を活用した新規就農者数
＜K P I＞ 5 人／年（令和 5 年度： 6 人）
- 支援策を活用した新規漁業就業者数
＜K P I＞ 2 人／ 5 年（令和 2 ～ 5 年度： 1 人）
- 合同企業説明会参加者数
＜K P I＞ 1 0 0 人／年（令和 5 年度： 5 3 人）

2) 長崎県立松浦高等学校の魅力づくりについて、産業界、教育機関、行政等が連携し、地域が一体となって取り組みます。

① 施策の方向性

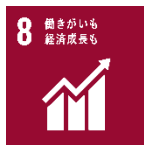
- ア 松浦高等学校の魅力を高めるための支援
- イ 松浦高等学校と関係機関との連携強化

② 重要業績評価指標（K P I）

- 松浦高等学校入学者数
＜K P I＞ 令和 1 2 年度当初時点： 1 2 0 人（令和 6 年度： 7 2 人）
- 市内中学生の松浦高等学校への進学率
＜K P I＞ 令和 1 2 年度当初時点： 5 2 %（令和 6 年度： 2 7 %）

（4）移住定住、関係人口創出・拡大のための取組を推進します。

〔関連する S D G s 〕



1) 子育て世代や若年層をメインターゲットとした移住支援策を充実させるとともに、県や移住関連機関と連携し、本市の魅力や住みやすさなどの情報を地域外へ発信します。

① 施策の方向性

- ア 移住相談体制の充実
- イ お試し移住の推進
- ウ 空き家情報の発信
- エ 都市部における効果的な市の情報発信
- オ 移住・定住を促進するための支援
- カ【再掲】 S N S 等を活用した本市の総合的な子育て支援制度の周知

② 重要業績評価指標（KPI）

- 移住相談件数
＜KPI＞100人／年（令和5年度：48人）
- 移住お試し住宅利用者数
＜KPI＞6組／年（令和5年度：5組）

2）観光・文化体験、地場産業等を含め、地域の特色ある滞在環境を作り上げ、その魅力を発信することで「松浦のファンづくり」を推進し、交流人口、関係人口の拡大を図ります。

① 施策の方向性

- ア ワークেশョンの推進
- イ 外部人材の活用、連携事業の推進による関係人口拡大
- ウ SNS、テレビメディア等を活用した市の魅力発信強化
- エ 市外におけるイベント推進による関係人口の創出
- オ【再掲】体験型旅行の受入体制の維持
- カ【再掲】ふるさとづくり寄附金事業の推進

② 重要業績評価指標（KPI）

- 【再掲】一人当たり観光消費額（日帰り）
＜KPI＞11,000円／年（令和5年度：10,070円）
- 【再掲】一人当たり観光消費額（宿泊）
＜KPI＞55,000円／年（令和5年度：52,991円）
- 【再掲】観光客延べ数（日帰り）
＜KPI＞令和11年度：124万人（令和5年度：1,115,779人）
- 【再掲】観光客延べ数（宿泊）
＜KPI＞令和11年度：13万人（令和5年度：130,362人）

【基本目標3】まちの創生

数値目標 令和11年 社会増減△62人（令和5年：△98人）

（1）誰もが安心して生活できる地域をつくります。

〔関連するSDGs〕



1) 市民一人一人が自主的に健康課題に取り組むための支援を行い、健康寿命の延伸を図るとともに、デジタル技術の活用も含め、誰もが等しく安全・安心な暮らしを実現できるよう、ともに支えあう地域づくりを推進します。

① 施策の方向性

- ア 医療体制の確保（在宅当番医制、夜間輪番体制の維持）
- イ 松浦市健診、各種がん検診の充実
- ウ 市民が主体となって取り組む健康づくり活動の啓発
- エ 障害者地域生活支援拠点等が有する機能の充実
- オ 地域と連携した介護予防の取り組みの推進
- カ 官民連携による高齢者見守りネットワークの構築
- キ 防災力・減災力向上の取り組み
- ク デジタルデバйд対策
- ケ 公衆 Wi-Fi の整備
- コ 公開型GISの導入

② 重要業績評価指標（KPI）

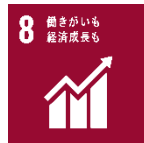
- 特定健診受診率
＜KPI＞45.0％／年（令和5年度：40.1％）
- がん検診受診率（各種がん検診平均）
＜KPI＞50.0％／年（令和5年度：11.6％）
- 自主防災組織数
＜KPI＞令和11年度末時点：85団体（令和5年度末時点：52団体）
- 松浦市防災アプリ登録者数
＜KPI＞令和11年度：3,650人（令和5年度：1,621人）

- 高齢者の集いの場への参加率

< K P I > 10.6% / 年 (令和5年度: 10.4%)

(2) 住みやすい環境の整備を行います。

〔関連するSDGs〕



1) 定住につながる支援を行うとともに、空き家等の既存ストックの活用、西九州自動車道やインフラの整備促進、公共交通空白地の解消など、住みやすい環境を整備し、近隣都市からの通勤圏として、居住の地に選ばれるまちづくりに取り組みます。

① 施策の方向性

- ア 老朽危険家屋を除去するための支援
- イ 西九州自動車道の整備促進
- ウ 新たな交通手段の導入による地域公共交通の維持・確保
- エ【再掲】移住・定住を促進するための支援
- オ【再掲】空き家情報の発信

② 重要業績評価指標 (K P I)

- 転入者による住宅取得奨励制度の活用件数
< K P I > 5棟 / 年 (令和5年度: 7棟)
- 空き家の活用件数
< K P I > 10棟 / 年 (令和5年度: 10棟)

2) デジタル技術を活用した利便性の高い市民サービスを提供する環境を整備し、住みやすいまちづくりを推進します。

① 施策の方向性

- ア 行政手続きのオンライン化のための環境整備
- イ 市窓口における市民の利便性向上に繋げるための取り組み
- ウ マイナンバーカードの普及促進
- エ 地域社会のデジタル化の促進に繋げるための取り組み
- オ 地域課題を解決するための取り組み
- カ 行政事務の効率化を図るための環境整備

② 重要業績評価指標（K P I）

- マイナンバーカード普及率

< K P I > 令和 1 1 年度末時点：1 0 0 %（令和 5 年度末時点：8 1 . 6 %）

- 電子申請システムへ実装した事務手続き数

< K P I > 9 5 件／5 年

（令和 7 年度以降電子申請システムへの実装を予定している件数：1 2 7 件）

（3）対話と協働によるまちづくりを推進します。

〔関連する S D G s 〕



1）対話と協働によるまちづくりが本市に根付くよう、体制整備やその促進のための人づくりに取り組みます。

① 施策の方向性

- ア 地域運営組織の設立促進

② 重要業績評価指標（K P I）

- 地域運営組織の設立団体数（全 9 地域）

< K P I > 令和 1 2 年度当初時点：9 団体（令和 6 年度当初時点：3 団体）